

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年4月1日

事業所名 こどもプラス日田教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	3	0	着替えなどで部屋の使い分けが必要になることもあるが、臨機応変に対応しスペースを作ることができている。
	2	職員の配置数は適切であるか	3	3	0	配置基準以上に職員を配置し、児童の見守りをよりできるようにしている。
	3	事業所の設備等について、安全を配慮した措置・バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	4	0	ジョイントマットなどを使いケガの危険性が無いように配慮している。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	4	0	教室内で起こった事例をその日に話し合い、対応方法の改善に努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	4	0	活用し、教室内でのミーティングで取り上げ、教室運営の改善に繋げている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	4	1	保護者の中には、公開していることを知らないと回答する方が多い。知らせていくことが課題。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	5	0	現在は行っていないが、今後行っていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1	0	様々な研修を取り入れ、職員の資質の向上に努めており、必要に応じて外部の方に講師をお願いし、研修の場を設けている。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1	0	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	3	0	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1	0	その日の活動について、ミーティングの時間を使って立案し、職員全員の意見を取り入れられるようにしている。

	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	2	0	その日の活動について、ミーティングの時間を使って立案し、活動のマンネリ化の無いようにしている。
適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	1	1	平日の時間にはできない活動を休日や長期休暇に取り入れ、充実できるよう設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	2	0	その日の児童の状況に応じて、個別や集団で対応できるように努めている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	2	0	活動プログラムの立案時に、その日の職員の配置、役割について話をし確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2	0	業務終了後にその日の児童の様子について話をし、今後の対応についても統一を図っている。またその日に起きたヒヤリハットなども話をする時間を作っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	2	0	その日の様子についてだけでなく、健康状態についても記載し体調管理にも努めている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	3	0	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	1	5	0	基本的な活動のほかに、地域イベントへの参加や地域施設を利用したイベントを行い、地域の方々との交流を大事にしている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	3	0	児発管が参加するようにはしているが、会議の前に職員間でその児童に対しての話し合いの場を設けている。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3	3	0	下校時間の確認や行事予定など、保護者の方より連絡を受ける体制をとっているが、念のため学校とも確認を取っていたり、情報の共有を行えるようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	5	1	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	4	1	

	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	5	1	利用を始める前に、担当者会議をお願いし話をする場を設けると同時に、今後も情報の共有が行えるよう関係性を作っている。
関係機関や保護者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0	4	2	基幹センターが新しくできたことで、部会だけでなく研修開催の連絡があったときには参加していきたいと思う。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	3	3	長期休みなどには、児童館に行ったりと交流の場を設けているが、話しかけたりできず交流できていないのが現状。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0	3	3	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	2	0	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	1	4	教室で起きたことは連絡帳で伝えるだけでなく、送迎時にも対応について統一しご家庭でもできるようにしている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	1	5	0	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	1	5	0	いつでも連絡をとれるように体制を整え、必要に応じてLINEなどツールを使用している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	3	3	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2	4	0	体制は整備できているが、保護者の方への周知ができていない状況。周知の方法について検討していこうと思う。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	2	0	長期休暇や学校休業日にはイベントを行い児童が退屈しないように取り組んでいる。お便りという形で毎月配布している。
	35	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	鍵付きの書庫に保管している。送迎表などの名前が載っているものは、業務後にシュレッダーにかけて処分している。

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	3	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	2	4	開設して間もないこともあり地域の方を招待しての行事はしていないが、地域での行事や施設には出かけ、交流ができるよう努めている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	2	2	マニュアルを策定し、職員の目に届くところに保管できているが、保護者の方への周知ができていないため、周知に向けて取り組んでいく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2	4	0	避難訓練だけでなく、非常食についてなどの訓練なども行い、災害に備えている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1	0	虐待防止委員会を設置し、定期的に職員に対して研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	5	0	現在、該当する児童がいないこともあるが、指針を決め会社としては身体拘束を行わない方向性で進めている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	4	0	現在、食物アレルギーのある児童はいないが、対応できるように整えている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	ヒヤリハットとして挙げた事案は職員間で話し合い、対応方法を統一して、今後起きないように繋げている。